

学校教育目標

富士に輝く須山っ子

大野原

学校経営目標 自分らしく輝く

令和8年1月6日
裾野市立須山小学校

飛躍の年に

校長 松本 勝

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。本年が皆様にとって良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

2026年の干支は「午（うま）」です。馬は力強く大地を踏みしめ、前を見据えて走り続ける動物です。また、障害があってもそれを乗り越え、大きく跳ぶ姿から、「飛躍」や「挑戦」を象徴する存在とも言われています。

本校では学校教育目標「富士に輝く須山っ子」を掲げ、今年度は特に「自分らしく輝けるように様々なことに挑戦しよう」と様々な場面で子供たちに伝えてきました。まさに今年はそれに相応しい一年となることでしょう。

子供たちには失敗を恐れず、自分（たち）の可能性を信じて一歩踏み出してほしいと願っています。その挑戦の積み重ねが、やがて大きな飛躍につながっていくことを期待しています。

挑戦といえば、12月に全校で「チャレンジタイム」という活動を実施しました。

（これについては前月の学校便りや本紙裏面に紹介しましたのでご覧になってください。）そこで、私もこの冬休みにMyチャレンジタイムを実行してみました。テーマは「今年は午年だけれども、『馬』にまつわる疑問（?）について調べたい!」です。以下その一部を紹介します。



■神社に馬がいるのはどうしてか？

出典:ウィキペディア参照

→正式名は神馬(しんめ・じんめ・かみうま)。神様の使いと考えられ、神社に奉納される馬のこと。かつては神様の乗り物として実際に馬を奉納していたが、馬の飼育には費用がかかるため、代わりに等身大の馬の像を捧げるようになった。馬の絵を描いた板(絵馬)もそれに由来する。



■器械体操にある「あん馬・跳馬」には、なぜ「馬」という言葉が入っているのか？

→古代ローマの兵士や若者たちによって馬術の基礎運動として行われていた。最初は跳び越し運動として行われていたが、段々と馬上における身体支配能力を育てることに重点が置かれるようになり、現在の体操競技として発展していくこととなった。あん馬・跳馬は1896年のオリンピックアテネ大会から体操種目として実施された。



自分の（～たい）を追求・追究することは、自らの成長につながる良い経験であることを今回の取組を通して私自身も実感しました。ぜひ皆様もチャレンジタイムを計画してみたいかがででしょうか。親子で取り組むと楽しさや充実感がより大きくなると思います。

雪遊び体験・スキー教室



いよいよ、今月は、1年生は雪遊び体験（1月15日）、2～6年生はスキー教室（1月15日・23日）が行われます。入場料、用具のレンタル料、インストラクター代、バス代のすべてを須山振興会から補助していただいています（一人当たり約5000円）。地域の素晴らしい環境に感謝し、楽しみながら体力づくりをしてきます。

なお、悪天候等で中止の場合もお弁当になりますので、よろしくお願いします。



書き損じはがき回収にご協力ください

今年度も、書き損じはがきを集めます。回収のご協力をお願いします。職員室前にポストを用意しますので、そこに入れてください。よろしくお願いします。

須山っ子アルバム♪

12月の様子☆



1年生と須山幼稚園児との交流会



3年生そば打ち体験 地域の皆様に教わりました♪



お花クラブ・お料理クラブ



サンターズのみなさん



チャレンジタイムでは、子供たちが自分の【やりたい】を計画、実現することができました！子供たちの相談にのっていただいたり、必要な物を準備していただいたり、ご協力をありがとうございました！



チャレンジタイム



ホームページで、子供たちや学校の様子をアップしています！
ぜひ、ご覧ください！

